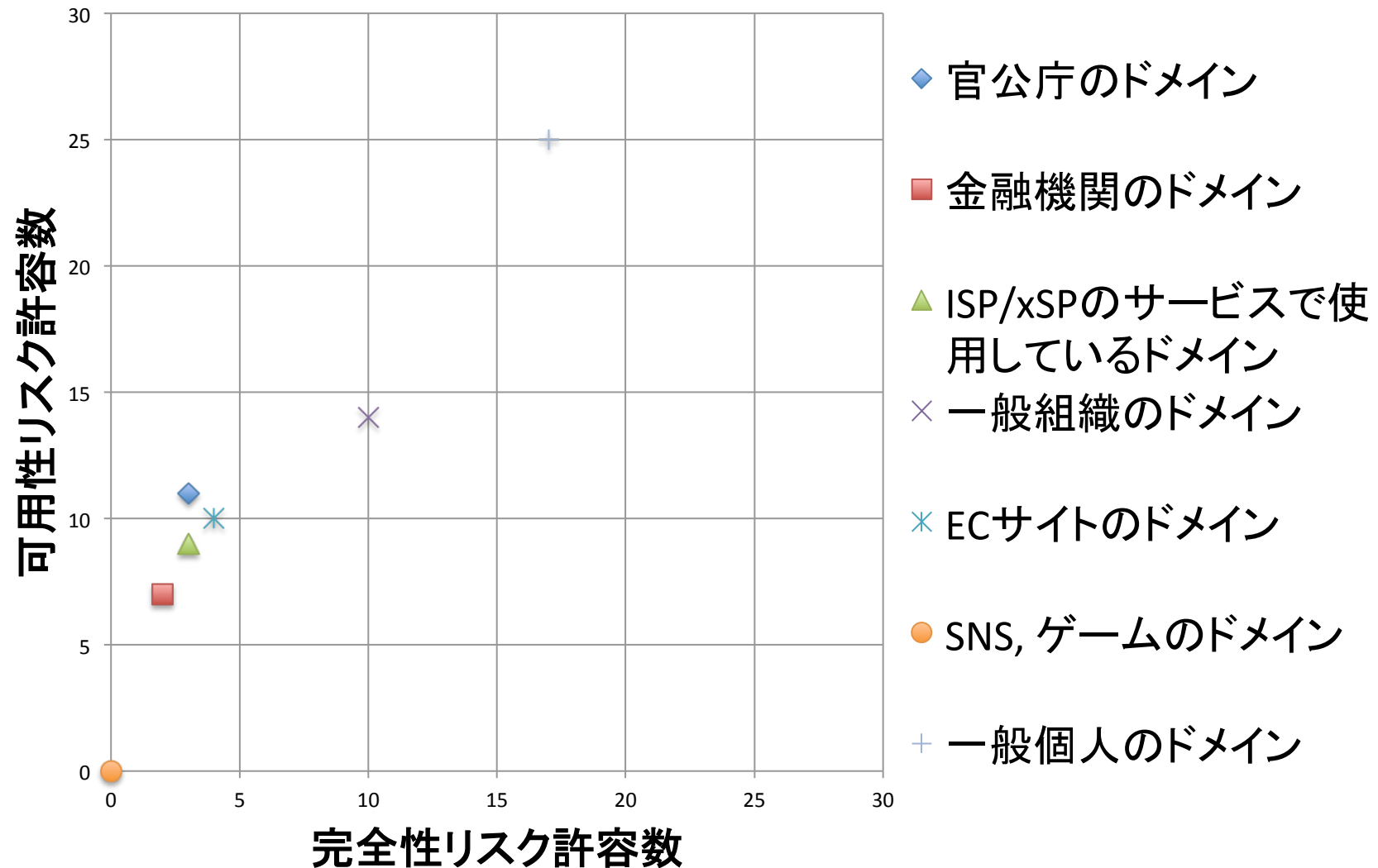


事前アンケート結果

事前アンケート結果(リスク許容)



Q.あなたの会社ではDNSSECを導入してますか(特に権威DNSサーバ運用者)?
導入していない場合、障壁となっている物はなんですか。

- 運用が大変
 - 鍵交換のリスク
- プロトコルが難しい
 - 技術者の不足
 - 難しくてよく分からない
- コスト、リソース面での課題
 - より優先されるものがある
- 可用性の問題
 - 可用性が低下する。
- ニーズ
 - 顧客・利用者の理解の不足
- めんどくさい

Q.キャッシュDNSサーバ運用者の方へ)DNSSECの検証を導入していますか？
導入していない場合、障壁となっている物はなんですか。

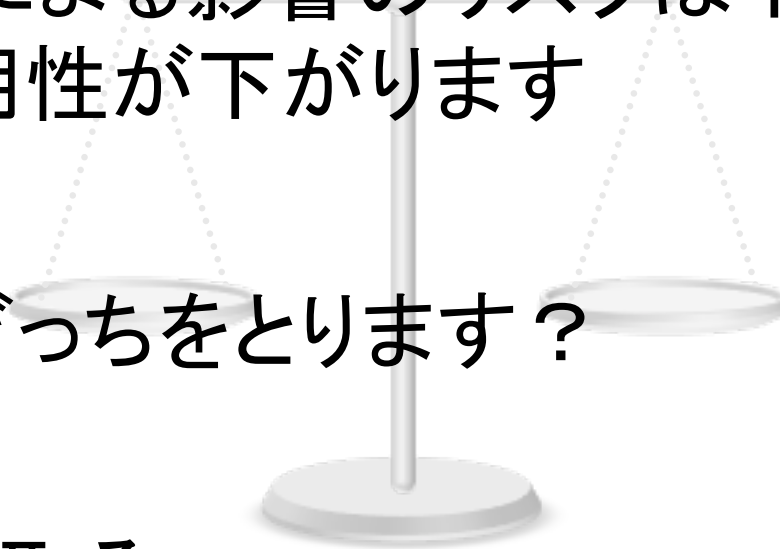
- プロトコルが難しい
 - 技術者の不足
 - 難しくてよく分からない
- コスト、リソース面での課題
 - より優先されるものがある。
- 障害が発生したときの責任

お題その1

- 下記のリスクを事業継続の観点から受容できますか、もしくは良くわからない？
 - 自社の管理するドメインが、キャッシュポイズニングされ、ユーザが損害を被る
 - 自社で管理しているキャッシュDNSサーバがキャッシュポイズニングされて、ユーザに損害を被る。

お題その2

- DNSSECを導入することでキャッシュポイズニング攻撃による影響のリスクは下がります。ただし可用性が下がります
- みなさんどっちをとります？
 1. 完全性を取る
 2. 可用性を取る



その他のネタ

Appendix(普及度)

■ キャッシュDNSでの検証の普及度

4.7%

ベリサインのデータより

<http://validator-search.verisignlabs.com/>

■ 検証しているキャッシュDNSを使っている割合

全世界 12% 日本国内 6.9%

Geoff Huston

[http://gronggrong.rand.apnic.net/cgi-bin/ccpage?
c=XA&x=1&g=0&r=1&w=1&g=1](http://gronggrong.rand.apnic.net/cgi-bin/ccpage?c=XA&x=1&g=0&r=1&w=1&g=1)

Appendix(普及度)

- Alexa TOP 1,000,0000中の割合

0.997%

InternetWeek2014 DNSDAY DNSSEC Update
(大本 貴さん)

Appendix(可用性)

- TLD等で検証失敗した事例のリスト

<http://ianix.com/pub/dnssec-outages.html>

良く使われているTLDでは最近事故は無い。

新gTLDの事故が増えてる傾向

Appendix(可用性)

■ APNIC逆引き障害時の挙動

<http://beijing46.icann.org/meetings/beijing2013/presentation-dnssec-experience-sannet-10apr13-en.pdf>

- APNIC逆引き障害時の挙動->沢山パケット出すよ
 - CPU使用率が3倍
 - 非再帰的問い合わせが8倍
- 署名システム障害時-> 署名有効期間にゆとりを持たせておけば、最悪DS削除って手も使えるよ。